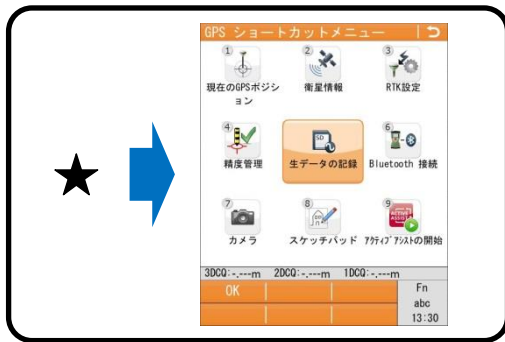
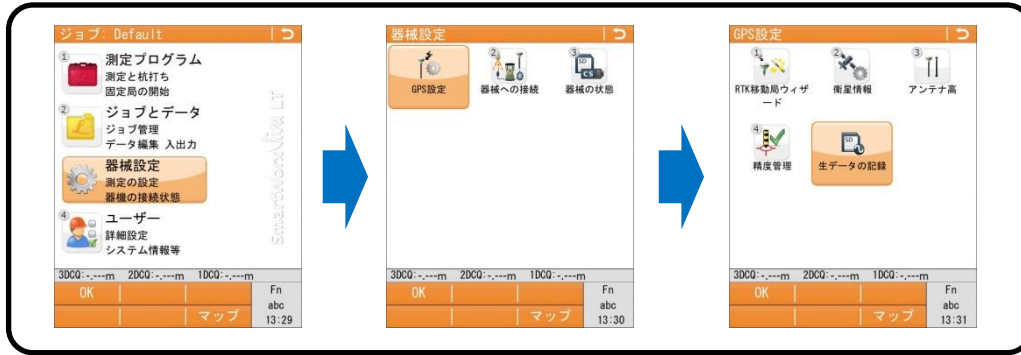
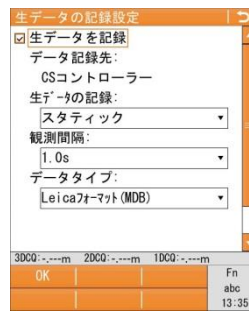


■ GS08plus スタティック設定

(Ⅰ) “生データの記録”を開く

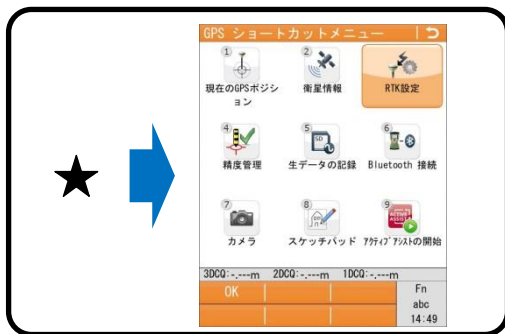
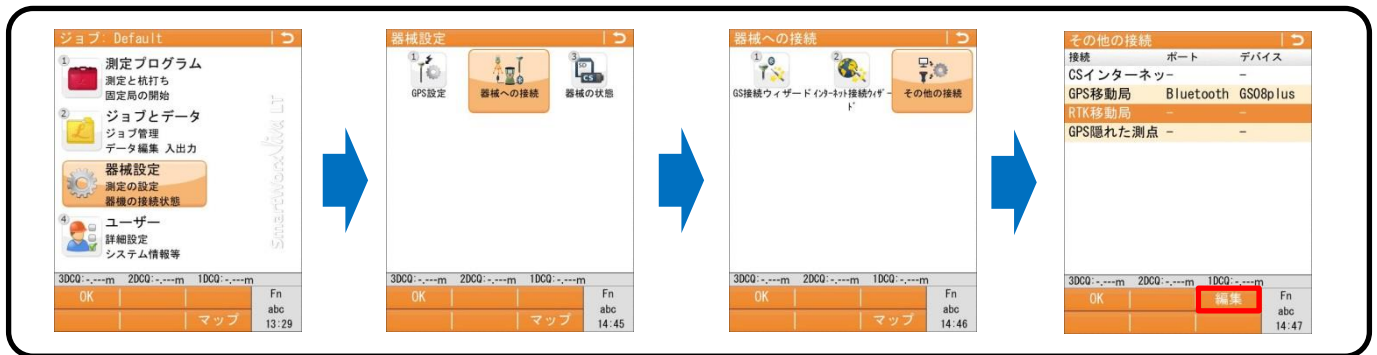


(Ⅱ) 生データの記録設定



- “生データの記録”に☑
- “生データの記録:”は、スタティック
- “観測間隔:”は、観測方法により設定 (通常は30秒)
- “データタイプ:”はLeicaフォーマット(MDB)

(Ⅲ) RTK設定をOFFにします

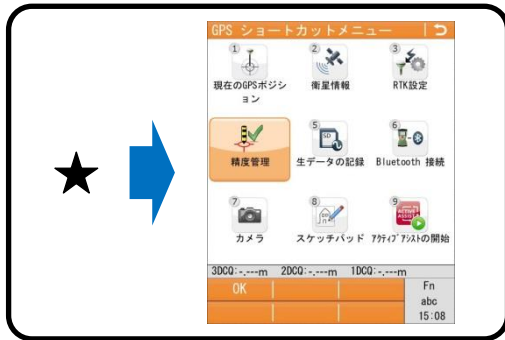
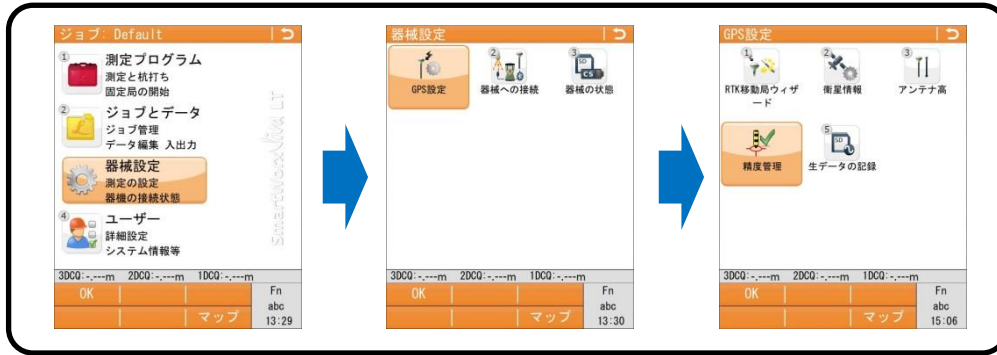


- “RTKデータの受信” ✓を外します

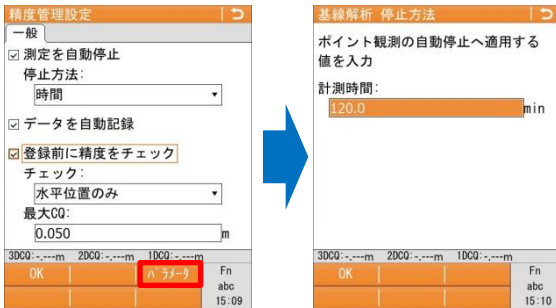
(※) このRTK設定は、移動局画面のみで行い、固定局では設定する必要はありません。

(I) ~ (III)の設定後、以下の設定を行います。

(IV) 精度管理



通常は以下の“停止方法:”を[時間]として観測を行います。

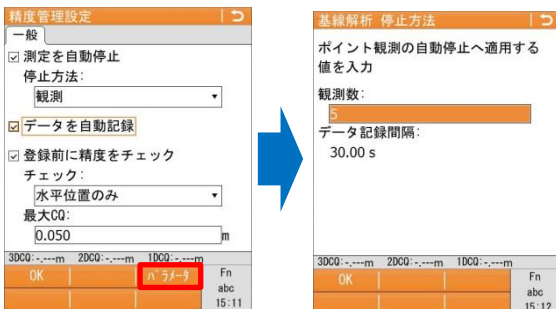


パラメータで設定した“計測時間”で自動記録する場合は、“データを自動記録”に☑を入れます。

観測完了時に精度チェックを行う場合は、“登録前に精度をチェック”に☑を入れます。

[パラメータ]を押すと、“計測時間:”を設定できます。

“停止方法:”は、[時間]の他に[ストップ&ゴーインジケータ][観測][衛星数]があります。



上記の設定が完了しましたら、【測定プログラム】→【測定】で観測を開始して下さい。